



・辻 丈夫の世界。

2017 1月21日.土—1月29日.日

作家在廊日 21日.22日.28日.29日 定休日 25日(水)

僕が18才の時やきもので感動した人が、辻清明さんという信楽焼の人でした。その息子が辻丈夫さんです。

丈夫さんも最初やきもの、九谷焼の研究所でやっていたのです。でも病気をして、それから今の不思議な、ティッシュを使った絵を描き始めたのです。色の良さはフランスの絵の具なんです。僕は感動して今回で2回目のカレンダーを造りました。今回は自意識をもって向って格闘しているように何える世界がでてきます。おもしろいことがどう産まれるのか、どこまで続くのか興味があります。

このカレンダーをもとに新作が加わって、面白い世界がつくられていくことでしょう。

2016年12月24日・高橋台一

辻 丈夫 つじふみお

1965年 東京 辻陶房に生まれる

1985年 安曇野 辻陶房にて修業

1992年 石川県立九谷焼技術研修所卒業

1996年—98年

軽井沢、京都、ギンザ小松ストア、青山などにてグループ展多数

1998年 以降、絵の制作と夢の中に打ち込む

2014年 「夢(無)意識の色彩」展／箱根菜の花展示室

以後、新宿 柿傳ギャラリー、小田原菜の花暮らしの道具店等にて個展

うつわ菜の花

小田原市南町1-3-12 電話(0465)24-7020

OPEN 11:00—18:00

<http://utsuwa-nanohana.com>

小田原駅東口より箱根方面へ向かうバス利用 [箱根口] バス停下車徒歩3分

●次回予告 安藤雅信展／陶 2月18日.土—2月25日.土

